

Mgaywa Gilbert Mjungu Damas Magafu 論文内容の要旨

主 論 文

Usefulness of Highly Active Antiretroviral Therapy on Health-Related Quality of Life of Adult Recipients in Tanzania

タンザニアにおける高活性抗レトロウィルス(HAART)療法が成人患者の健康関連 QOL に与える有効性

Mgaywa G.M.D. Magafu, 門司和彦, Ehimario U. Igumbor, 溝田 勉, 山本太郎, 橋爪真弘

AIDS Patient Care and STDs (in press)

長崎大学大学院医歯薬学総合研究科新興感染症病態制御学系専攻
(主任指導教員: 溝田 勉教授)

緒 言

本研究の目的は、HAART 療法を受けている HIV/AIDS 患者における健康関連 QOL を評価し、その関連要因を明らかにすることである。

対象と方法

タンザニア連合共和国カゲラ地区において、HAART 療法を開始してから2年が経過した18歳以上の HIV/AIDS 患者を対象とした。対象者数は329人であり、調査は2007年の5月に面接法により行った。健康関連 QOL の評価には SF-36 (Short-Form Health Survey 36 項目版) 質問紙を用いた。質問項目は、対象者の属性、社会的因子、慢性疾患、HAART の副作用および HAART 療法の順守の程度であった。治療に関するデータ、最初および最新の CD4 値は診療録を参照した。性・年齢を調整した対象者の SF-36 スコア平均値を1990年後半のタンザニア人一般集団のスコア平均値と、t検定を用いて比較した。身体機能、心の健康尺度スコアに対する性、年齢、教育程度、収入、慢性疾患の有無、CD4 値、HAART 副作用、HAART 療法の順守の影響をロジスティック回帰分析を用いて調べた。

結 果

対象者の平均スコアは、全体的健康観(P 値=0.191)、心の健康(P 値=0.161)を除き、一般集団の平均スコアより有意に低かった。慢性疾患を有する HAART 受療者は慢性疾患のない受療者よりも有意に心の健康スコアが低かった(P 値=0.007)。CD4 値が増加した者では、慢性疾患の併存は身体機能に対し負の影響を認めたが(オッズ比 13.6、95%信頼区間 3.7-49.9)、CD4 値増加のない者では慢性疾患併存の影響は認めなかった。

考 察

HAART 受療者の健康関連 QOL を改善する上で、慢性疾患を適切に管理することが非常に重要である。